

まちづくり部会



くずは地区でフィールドワークを実施

昨年のエコフェアで実施した「ひらかたのまち、ここが好き、ここが嫌い」アンケートで好感度の高かった場所を中心に、その理由や共通点を探るためのフィールドワークを3~4回実施する予定です。

第1回は5月15日北部方面で、市民の森、交野天神社、船橋川回遊路などを巡りました。引き続き東部方面、南部方面までを巡るべく企画中です。決まり次第、皆さまにお知らせしますので、ぜひご参加ください。



環境教育サポート部会



環境教育サポーターを養成する「ひらかた環境くらわんか塾」開講

8月から「ひらかた環境くらわんか塾」を開講します。この講座を修了すると「環境教育サポーター」になることができます。来年度から、枚方市の小中学校では、学校版環境マネジメントシステム(EMS)の導入がスタートすることがすでに決まっています。環境教育サポーターはこのEMS構築や運用の支援をします。詳細は本誌に同封されているチラシをご覧ください。

7月に市内の2つの小学校で出前授業を行う予定です。お手伝いいただける方や見学をご希望の方は、事務局までお知らせ下さい。

子どもたちに昔のくらしなどを話し聞かせる「環境語り部」の活動を始めます。関心のある方は、事務局までお問い合わせ下さい。

運営委員会



ひらかたエコフェアの企画を担当

サブリ村野3階にネットワーク会議事務局が移転し、5月8日、事務所お披露目の茶話会を開催しました。会員17人、ひらかたNPOセンター等からの来賓6人、環境保全部職員8人の参加があり、ささやかながら賑やかに語りました。

5月22日、淀川河川敷で開かれる国際水辺のマーケットにテントブースで出展し、会員募集を行う予定でしたが、雨で中止となり残念でした。

今後、エコフェアではネットワーク会議が中心となって企画していきますので、「何かおもしろいことやってみよう」「イベントの企画に参加したい」という「あなた」、ご参加お待ちしております。

特集・部会紹介 ごみ・エネルギー部会

枚方市環境基本計画と部会の活動

ごみ・エネルギー部会は、枚方市環境基本計画の推進及び計画の見直しという、ひらかた環境ネットワーク会議の大きな役割を常に念頭に置き、廃棄物及びエネルギー分野のワーキンググループ（WG）を作って実践活動に励んでいます。



サプリ村野に設置した雨水モニター用タンク

枚方市環境基本計画		ごみ・エネルギー部会の活動	
環境分野	施策の方向	今後の実践活動テーマ	現在活動中のWG
廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の発生抑制 ・再使用・再生利用の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ減量・堆肥化の拡大 ・有機性廃棄物のバイオガス化・エネルギー変換可能性調査 ・地域ごみ減量（減量推進員制度）の実態調査 ・資源化物リサイクルの実態・追跡調査 ・廃食用油リサイクルの需要開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ減量・堆肥化WG ・地域ごみ減量WG ・廃食用油リサイクルWG ・ひらかた自然エネルギー学校WG ・省エネラベルWG ・雨水モニターWG
エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギーの推進 ・自然・未利用エネルギーの利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギー学校の設立 ・省エネラベルの普及 ・エコライフの推進 	
水循環	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水の貯留、浸透機能確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨水利用の普及 	
地球環境	地球温暖化防止	<ul style="list-style-type: none"> ・地域新エネルギービジョンの実践 	

ワーキンググループの活動紹介

各ワーキンググループ（WG）はリーダーを中心に、他WGと協力・連携して活動しています。

〈ひらかた自然エネルギー学校WG〉

家庭や地域で地球温暖化防止につながる自然エネルギー普及のための人材と、そのネットワーク作りを目的に「今なぜ自然エネルギーであるのか？」を統一テーマに第一線で活躍されている講師をお招きし、8月に開講する「ひらかた自然エネルギー学校2005」の準備にWGメンバー（学校運営スタッフ約10人）が現在奮闘中です。共に学校運営をしていただけるスタッフおよび受講生（定員30人、先着順）を募集中です。

〈雨水モニターWG〉

大阪府の「みんなで大阪クール大作戦！おおさかレインボウぷるじえくと」で、「雨水モニター」として枚方市では府内15件中1件採択されたのを機会に、6月に新たに誕生したWGです。サプリ村野を拠点に、7月から枚方市環境総務課とともに雨水利用の体験、普及啓発活動を開始します。

〈省エネラベルWG〉

6月に省エネラベルとは？の勉強会から開始したWGです。すでに札幌、首都圏、静岡、長野、京都、大阪、香川、高知など全国各地でネットワークが広がっている「省エネラベル」キャンペーンを枚方市内で検討していきます。省エネラベルに興味のある方、当WGにご参加下さい。

イベント&募集 お知らせ コーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせは、ひらかた環境ネットワーク会議事務局までご連絡ください。
072・847・2286

ケーブルTVでネットワーク会議を紹介



地域のケーブルテレビ局「ケイ・キャット」(アナログ 11ch、デジタル 111ch)で放送されている枚方市の市政情報番組「ここが知りたい枚方市」で、ひらかた環境ネットワーク会議の活動が紹介されています。

この番組は、月1回の更新で枚方市に関するさまざまな情報を放送しており、7月放送分は、枚方市が実施している夏のエコライフキャンペーンや、市民・事業者の環境に関する取り組み(写真)を紹介しています。ぜひご覧下さい。

放送日：7月24日まで毎日放送中

時間：午前9時30分～、午後8時30分～(土曜日・日曜日は午前の放送のみ)

エコフェアのプロジェクトチーム員募集

ひらかた環境ネットワーク会議では、今年から「ひらかたエコフェア」の企画部門を担当することになりました。そこで、新たに「エコフェアプロジェクトチーム」を立ち上げ、11月下旬に開催される「ひらかたエコフェア」に向けて、イベント企画などを検討していきます。

「部会には参加していないが、イベント企画に興味がある」という方は、ぜひご参加ください。

「環境のへえ～」Vol.5

『竹材活用のメリット』

木材と木材を接合する場合、継ぎ手には金属製の釘などを使うのが一般的ですが、「愛・地球博」の日本館では代わりに竹筒を使用しています。

木材の接合部に穴を開け、竹製の筒の継ぎ手で接続します。金属のストローで筒内に注入した接着剤が筒の両端からあふれ出し、穴と竹筒の隙間を埋めて木材を固定します。

継ぎ手に竹を使うメリットは、解体時の切断のしやすさと解体後の分別処理が不要なこと。鉄板やボルト、釘などを接合部に使っていないので廃材から金属を分離する手間がかかりません。
(30秒で読む環境情報！)

国際ソロプチミスト枚方-中央から 自然エネルギー学校設立へ支援金

ひらかた環境ネットワーク会議は、5月31日、国際ソロプチミスト枚方-中央から、「ひらかた自然エネルギー学校」に対する支援金の贈呈を受けました。これは同会の20周年記念事業の一環として行われたものです。

支援金の贈呈式は、サプリ村野のネットワーク会議事務局で行われ、同会会長の石原敏枝さんと、事務局の井上祥子さんから、谷崎会長に



目録が手渡されました(写真)。石原会長は「自然エネルギー学校の開校が、地球温暖化防止に役立ってほしい」と話していました。

会員数(平成17年7月1日現在):正会員197名(個人162、団体35)、賛助会員36名(個人30、団体6)

団体紹介 コーナー

森林ボランティア 「竹取物語の会」

設立：2002年7月 会員：55人 代表者：堀田英雄
活動場所：枚方野外活動センター
ホームページ：<http://www.eonet.ne.jp/~taketorinokai>



植林
雑木林の再生
竹林伐採跡地への

「山を元気に！」を合言葉に、竹林伐採などの活動を展開

里山を侵食、幽閉化した竹林を切れば「かぐや姫」に会える。そんな思いに駆られた有志が集い活動を始めたのが、森林ボランティア「竹取物語の会」です。年間活動日数は95日、年間活動人数は1440人を超え、全国でも類を見ない活発な団体です。会員みんなの願いは、里山の保全活動を通して「山を元気に！」すること。今年2月に批准された京都議定書の精神に少しでも役立てばと活動をしています。

竹林・雑木林の保全活動から生じる廃材の活用については、キャンプ場の燃料としての薪作りのほか、子ども達の創造力を養うクラフト作りにも力を入れ、山を訪れる人の指導に当たっています。

また、竹炭や竹酢液、さらには竹和紙がどのようにしてできるか、いつでも紹介できるようにしています。

枚方市には、貴重な里山が残っており、今後この里山をどのように守っていくか、地元の人たちと協議を進めながら活動していく予定です。

里山保全の感動をより多くの人に

<代表者の想い>

森林ボランティアは、小さな野草から大きな樹木、近くの里山から地球環境まで幅広い範囲で価値観を見出せる活動です。1日の活動を終え、きれいにな



七夕祭のモニュメントの前に立つ堀田英雄さん

った山を振り返ったとき、小さな感動を覚えます。この感動を多くの方へ伝え、枚方の里山で保全活動がさらに進むこと、これが私の夢です。

編集後記

今年の流行語大賞に選ばれるのではと思うくらい最近よく耳にする「COOL BIZ(クール ビズ)」。これは、エアコンの温度を28に設定しても快適に過ごせる、ノーネクタイ・ノー上着のファッションのことです。流行に乗せられやすい私は、早速クールビズ用のシャツを何着か買い揃えました。襟の形状が少し変わったものや、ボタンホールに色糸を使用したものなど、お洒落心をくすぐるデザインで、毎日のシャツ選びが楽しくなりました。地球にやさしいライフスタイルは楽しい！人一倍暑がりやの私ですが、今年の夏は28で乗り切れそうです。(鍛冶谷記)

ひらかた環境ネットワーク会議会報「環境ひらかた」第6号

平成17年7月1日発行(年4回発行)

発行：ひらかた環境ネットワーク会議

〒573-0042 大阪府枚方市村野西町5番1号

サプリ村野内(旧村野小学校)

電話 072-847-2286

FAX 072-847-2286

Eメール jimukyoku@hirakata-kankyuu.net

ホームページ <http://www.hirakata-kankyuu.net>

発行責任者：谷崎 利男

編集責任者：鍛冶谷 知宏

この会報誌は古紙再生紙を使用しています。

2100

古紙再生率100%再生紙を使用しています
白紙製ではありません